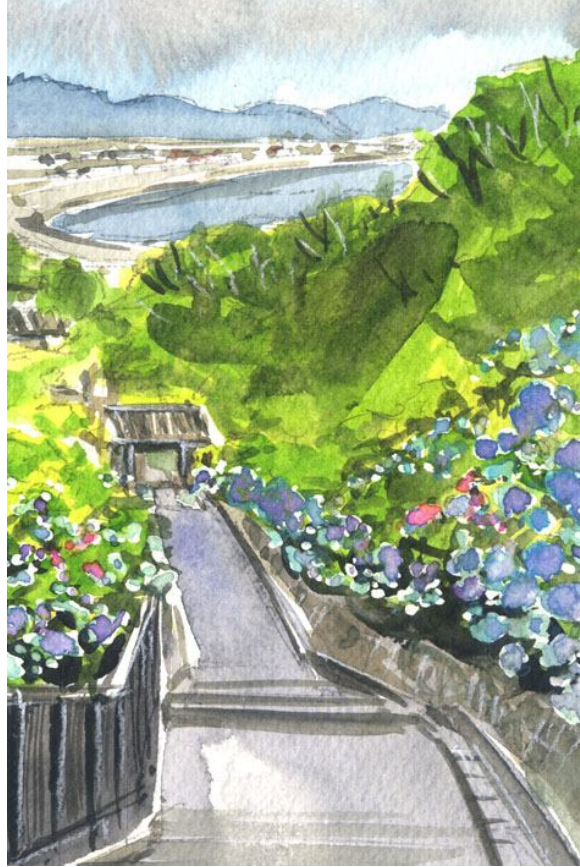
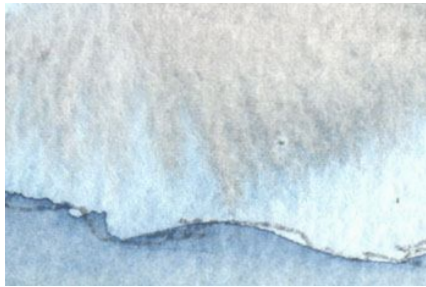


紫陽花という花は 日本のどんな風景にも似合いますが しかし鎌倉という土地にとって 紫陽花は特別な意味があるように思います 紫陽花は灌木なので イチョウやケヤキのように何百年も生長し続けることはありません しかしこの海が見える紫陽花の道を歩くと この紫陽花は頼朝の時代からここに咲いているような気がしてくるのです



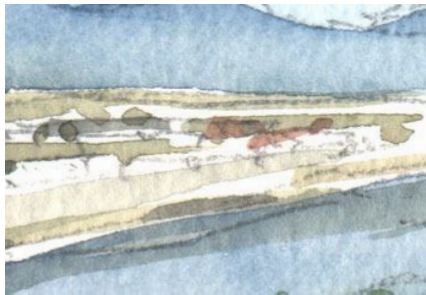
これが完成した絵です



1、雨雲は独特の滲みで表現します あとから真水を塗るのです



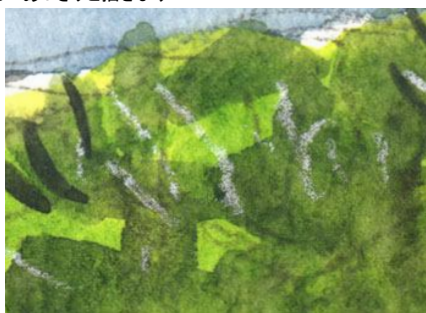
4、山門も控えめに描きます 一部分だけを精細に描かないように



2、海岸の街並みは あっさり描きます



5、紫陽花の房の立体感は何度か塗り重ねて表現します



3、樹木は濃いめに描き 紫陽花を引き立たせます



6、白い部分を残すのも効果的です